

令和6年度 横山地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和7年2月3日（月）午後7時から午後8時30分まで
- 2 場 所 横山公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、石井副市長、萱野中央区長、榎本市民局長、兼杉中央区副区長
- 4 出席委員等 14人
- 5 傍聴者 1人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	横山地区内における交通安全について
概要	<p>横山地区は、平坦な土地と緩やかな勾配を有する地形であり、その中に商業・医療施設が点在しているとともに隣接地区の鉄道駅へのアクセスも良いことから、通勤・通学など、日常生活での自転車利用が多い地区である。この地形や立地を背景に、昨今普及している電動アシスト付自転車、チャイルドシート付大型自転車や高性能ロードバイクなどの利用も目立つ。</p> <p>近年、地区内ではスマホのながら走行、猛スピードで坂を駆け降りる高校生、園児の送迎で前後にだっこひもで幼児をのせた自転車走行などルール違反が散見され、重大な交通事故につながるものが懸念されている。</p> <p>また、横山地区は国道129号を跨ぎ、国道16号や圏央道のインターチェンジに近接していることから、物流における立地的条件が整っている。このため、令和6年には横山地区に隣接する地区に実際に新たな大型物流倉庫が建設され、現在も別の物流倉庫の建設計画が進められている。</p> <p>併せて、中央区内では令和6年4月に田名地区や大野北地区、同10月には隣接する星が丘地区において大型車両や歩行者・バイクなどが関わる交通死亡事故が発生しており、地区内での大型車両の通行量増加、倉庫・工場への入場車両の道路上での待機に伴う他の車両や自転車などの交通安全対策・事故発生防止が喫緊の課題となっている。</p> <p>横山地区では昨年度、隣接する清新地区で発生した小学生の自転車の死亡事故や大規模マンション建設に伴う大型車両の通行量の増加をうけて交通安全対策の機運が高まり、トラック交通安全教室の実施や、まちづくりを考える懇談会において交通安全をテーマとし、児童通学時の見守り体制の強化などについて取り組んできた。今年度においては小学生のみならず、高齢者も含め全世代を対象とした自転車走行を主とした交通安全に対するさらなる取り組みが必要と判断した。</p> <p>以上のような背景・実状と経緯から、「交通安全」をテーマとした横山地区の継続的な取組として、特に自転車走行に関する今日的な課題の確認、行政・警察・地域それぞれの取組と役割、市の交通安全に係る方針等について懇談・情報交換をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に関する取組について <p>特に自転車走行のルール啓発に関する行政・地域の役割と取組状況、今後の方針をお聞きしたい。</p> ・自転車走行に関する今日的な課題、講習や体制の確認について <p>変容する自転車の性能や利用実態、道路交通法の改正を踏まえ、地域住民、特</p>

	<p>に子どもや高齢者が自転車走行のルールに関する正しい知識を得るための講義や体験会等の実施状況や体制についてお聞きしたい。</p>
<p>地区の取組 状況等</p>	<p>令和6年度に地域包括支援センターが高齢者向けの「自転車の乗り方、歩行者のマナー教室」を地区内3か所で開催し、意識啓発を行った。</p> <p>また、横山小学校は毎年3年生を対象に自転車の乗り方教室を開催する予定であったが、諸般の事情で未実施となっている。</p> <p>昨年度、横山地区まちづくり会議が運送事業者の協力を得て子ども向けに開催した「トラック安全教室」を継続すべく、今年度は中央区安全・安心まちづくり推進協議会横山支部が主体となって、令和6年11月に実施した。引き続き、子どもの登下校時の安全確保や課題共有に必要な地域交流の場としていきたい。</p> <p>子どもの見守りの維持・強化のために令和6年度から横山小学校周辺の通学路に「学童通学安全指導員」として地区内の25名が登録し、令和6年9月より活動を開始している。</p> <p>現在、自動車運転手の注意喚起を促すため、横山小学校前の横断歩道の赤色着色化、通学路のグリーンベルトの再塗装について地域から土木事務所へ依頼しており、今後、施工される予定となっている。</p> <p>また、同小学校周辺道路の歩道の段差解消についても、本年度、改良工事が行われた。</p> <p>令和6年8月、地区内の安全安心なまちづくりを進めるため、横山台2丁目の大型マンション建設に伴い、これまで継続的に行ってきた建設業者との情報交換会を本年度も開催。工事の進捗状況や工事期間中の安全対策、竣工後の子どもの通学路の確保等について意見交換を行った。</p> <p>また、大型マンション完成後の歩行者の安全環境確保の観点から、隣接する公園へのマンション側からの入り口設置を提案し、市とも調整が進みマンション完成に合わせて実現する予定。</p> <p>隣接する南橋本4丁目で大型物流倉庫の建設が完成し、供用開始に伴い発生が懸念される物流車両と歩行者・自転車との事故を防ぐため、令和6年6月、横山地区と清新地区合同で当該施設を運営する企業と住民説明会を開催した。</p> <p>昨年4月に当該施設周辺で発生した交通死亡事故をはじめ、大型車両が当該交差点ポールに接触、破損させた事案、倉庫を利用する車両経路が通学路と重なること、待機車両が自転車道を圧迫することなど施設周辺の地域の実情等について地域側から発信し、企業へ地域実情を踏まえた交通安全対策への対応を求めた。</p> <p>◆以上の内容について、パワーポイントでのスライドを交えて説明があった。</p>
<p>市の取組 状況等</p>	<p>横山地区の懇談は、具体的な内容が多いため、市政に反映させやすく、非常に感謝している。交通安全のような話については、地域の皆様との連携なくして進めていけない。</p> <p>市には8人の防犯交通安全指導員がおり、交通安全教室を実施していただいている。令和5年度は230回実施することができた。特に幼稚園、保育園及び小学校で多く実施しており、例えば小学生だと、入学時や3年生の時には自転車に関する交通安全教室を実施している。</p> <p>また、今年度自転車用のヘルメットの購入に関する補助金を交付し、最終的に</p>

	<p>は11, 230個のヘルメットに補助を実施した。</p> <p>中央区の取組として、毎年5月を九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間と位置づけイベントを実施している。</p> <p>もっと具合的な取組としては中高生を対象にしたスケアード・ストレイトという実際の自転車事故を再現し、ヒヤリ・ハット体験を疑似体験する手法を用いた交通安全教室を実施した。</p> <p>また、中央区では安全・安心まちづくり推進協議会でも取組を行っており、例えば、区内の学校に通学している小学生や高校1年生を対象に、自転車利用のルール及びマナーをテーマにしたチラシを配布している。また、自転車マナーアップデーとして年3回、主要な交差点で、自転車利用のマナーアップや自転車用ヘルメットの着用を呼びかけている。</p> <p>そのほかにも、広報紙やホームページなど周知啓発を行っている。来年度計画しているのは動画を使って若い世代に啓発していきたいと検討している。引き続き、地域から具体的な提案をいただき、取り組んでいきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p>
--	---

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>横山小学校が自転車の安全教室を実施したのは3年生の2学期の終わりであった。学校評議員会での意見として、できれば入学時など早い段階で実施していただくことはできないか。また、横山地区は地域包括支援センターが高齢者を対象に安全教室を実施しているが、市でも高齢者を対象にした安全教室をやっていたらとありがたい。お年寄りが歩道橋を通らず、下の道路を渡ってしまうことがある。</p>
<p>市の発言</p>	<p>市としても、外出による健康寿命の延伸を促進したいと考えているので高齢者の健康づくりだけでなく、どのように、快適な生活を送れるかという点から、自転車の交通安全等に関する取組をしていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p> <p>交通安全教室の時期については、毎年1月ごろに申し込みをいただき調整している。そのため全部の学校を年度当初に行うことは難しいため、夏休み前などにはできるように調整していきたいが、全てを希望どおりに実施することは難しい。自転車シミュレーターは公民館まつりなどで貸出をしている。交通安全教室も自治会での申し込みなどによって、様々な年齢の方を対象にしているため交通・地域安全課にお問合せいただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(榎本市民局長)</p> <p>中央区は事故が多く、中でも自転車事故が多い。高校生の自転車通学が多いため、高校生に向けた啓発が中心となっている。小学校低学年が危ないことも承知はしているが、高齢者も非常に多いため、全般的な高齢者向けの教室も行っていかなければならないと感じている。</p> <p style="text-align: right;">(萱野中央区長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>宮崎市で横断歩道の黒色の部分を赤く塗って事故が減った例がある。同様の取組ができるかどうかはわからないが、大胆な交通安全対策をとっていかないと事故は減らないのではないかと感じている。</p>

	<p>また、昨年度、他の委員から、横山小学校に限らず小学校付近をモデル地区に設定するなどして交通安全に取り組んでほしいとの要望があったが、市には前向きに横山小学校付近の道路修繕に取り組んでいただいで感謝している。</p>
市の発言	<p>横断歩道全体の赤色着色が可能かは確認が必要なので保留にさせていただく。市内の住宅街の信号のない交差点は事故防止のため赤色着色化や夜間に点滅するライトの設置などを行っている。気を付けようという気持ちになる取組であると思うので進めていこうと思う。 (榎本市民局長)</p>
地区の発言	<p>横山小学校の裏手の歩道については、長年問題だと思っていた。前回の懇談会で話をしたところ今年度には是正していただいで感謝している。</p> <p>バス停「日金沢上」で自治会役員が降車時に2番目の降車であったため、左右確認せず降車したところ自転車にはねられ負傷した。歩車分離が理想ではあるが中々難しい。自転車走行可の歩道から歩行者専用道路に移る場所に標識などがないと感じている。坂道だったためスピードも出てしまうので危ない状況である。</p> <p>70歳以上は歩道走行可能だが、一般の方は知らないのではないか。また13才未満も歩道走行可能だが、付き添いの人はどうなのかなどを整理いただいで表示やお知らせをしていただきたい。</p>
市の発言	<p>歩車分離が大前提と思っている。市域全域ができていくかどうかは確認させていただくが、歩道に乗り上げてよい部分については、そのスタート地点に標識が設置されている。標識だけでなく、意識づけ、マナーづくりが大切だと思うので教育等の取組を検討させていただきたい。 (石井副市長)</p> <p>自転車が通行出来ようが出来まいが事故が起こっては意味がない。バスの運転手によっては自転車が来ていることをアナウンスしてくれているが、危ない場所でそれができるのか調整させていただく。また、マナーや法律を整理し周知していきたい。 (萱野中央区長)</p> <p>自転車歩道走行可の道路は市内で1,237箇所、中央区は543箇所あり、中でも県立相模原高校の前の道路で、中央5丁目交差点から国道16号線にぶつかる中央1丁目交差点までは、自転車の時間指定一方通行となっており、市内唯一である。また、歩行者の安全確保として、上溝駅前ポールを立てて対策するなど危ない所は対応している。現場の状況に合わせて対応していく。 (榎本市民局長)</p>
地区の発言	<p>高齢者の交通安全教室を行ったときに市から自転車のシミュレーターをお借りしたが、体験者が多く、全ての希望者に体験してもらうことができなかったため、もう少しシミュレーターを用意していただくことはできないか。</p>
市の発言	<p>市ではシミュレーターを1台所持している。1台あたりの単価が高いため、いくつも購入することはできないが、県や民間事業者から借りることは可能であるため、大勢の参加が見込まれる場合には、事前にお声掛けいただければご用意できると思う。 (榎本市民局長)</p>
地区の発言	<p>できるかどうかは別として、信号のない、実際の交差点などでリアルな講習会をするなども一つの手段であると思っている。</p>
市の発言	<p>小学生の教室などでは、小さい信号などを用いて、実際の自転車でリアルな講</p>

	<p>習を行っている。公園や広場などを借りられれば、同じようなことはできるのではないかと思う。</p> <p style="text-align: right;">(榎本市民局長)</p>
地区の発言	<p>横山小学校南交差点は朝の指定時間に右左折禁止だが違反自動車が多い。自動車の免許を持っていない高齢者に向けた講習会をお願いしたい。</p>
市の発言	<p>ご意見としてお聞きする。民間企業でも高齢者の方の免許返納を含めた講習が行われている。事例について情報提供させていただく。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p>
地区の発言	<p>交通安全教室など、何があるのかなどを教えていただき、自分たち自身も交通安全に関する自衛力を高めるために、地区として何ができるのかを判断していきたい。これからもサポートをお願いしたい。</p>

市長の感想等	<p>いただいた意見を持ち帰り、できるところから進めていきたい。交通事故については個人の意識と行動によって重要な命を守ることにつながると考えている。子どもからシニア世代まで、みんなが安全でいきいきと生きていける社会を作っていくためにも、事故のないようにしてまいりたい。</p> <p>ハード面の話もあったが、ソフト面も非常に大事であると思っている。今後、作成が計画されている啓発動画で皆様に見ていただき、交通安全について示すことも考えている。また、中央区には鹿沼公園の中に交通公園がある。ここで新たにまちづくりプランとして周辺の公共施設を集約し、鹿沼公園の中に複合型の施設を作ろうと考えている。これに合わせて鹿沼公園もリニューアルし、交通公園の部分もバージョンアップするので、そういったところも活用していきたい。</p> <p>横山小学校の交差点などは雨が降ると傘渋滞が起こることから、教育委員会とも相談をしている。</p> <p>地区まちづくりを考える懇談会に限らず、区長やまちづくりセンターに遠慮なく相談していただきたい。</p> <p>本日は、貴重な意見をいただき感謝する。</p> <p style="text-align: right;">(本村市長)</p>
--------	---